

事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	秋の海ごみゼロウィーク 賛井店一斉ごみ拾い
イベントの目的・ねらい	約300店ある賛井店に声をかけ、店舗近隣でごみ拾いを行ってもらう。全国で広がっている海ごみゼロウィークを知ってもらい、その他にもプラごみが多いこと、リサイクルできるものがあること、ごみを出さない・捨てない・ごみを拾うという自分たちにできることを続けることで海ごみ減少につながるということを感じてもらい、これからは自発的・積極的に続けていくように意識してもらおう。
日程	2020年9月12日(土)～9月19日(土)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
開催場所	賛井店の店舗前近隣・河川や海岸線など 福井県全域
参加人数	約4,500人
主催	福井県プロジェクト実行委員会
協力店舗	福井県内の賛井店 約300店
告知方法	HP、夕方情報番組

2) イベント内容

イベント内容	海ごみゼロウィークである9月12日(土)～9月19日(土)の期間内に、福井賛井店の約300店舗で一斉に近隣のごみ拾いを実施。海ごみゼロ2020オリジナルごみ袋を送付。どれだけ行ったかを写真などと一緒に報告してもらおう。
--------	---



3)その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除しているだけではわからないごみが多く見つかった。 ・思っていたより店のまわりにごみがあり驚いた。 ・店舗でもごみが減る工夫を考えていききっかけとなった。
<p>配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)</p>	<p>・海ごみゼロ2020オリジナルごみ袋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

事業ID: 2019522566

事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や

県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)

団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	2020福井県フェス in ハピリン
イベントの目的・ねらい	海ごみゼロへの意識を広げるべく、使用する容器や袋を全てプラスチックフリー製品にするというオールプラスチックフリーのイベント。「NEXT DONBURI CONTEST」決勝ラウンドを実施したり、来場者とともにごみ拾いを実施することで、来場者に「海ごみ」の現状のPRを行い、海洋ごみの問題を一緒に考えるきっかけを作る。
日程	2020年9月12日(土)～2020年9月13日(日)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
イベント掲載URL	http://fukudon.jp/news/info/1570/
開催場所	福井市にぎわい交流施設ハピリン1階(JR福井駅西口側)ハピテラス
参加人数	7,800人
主催	福井県プロジェクト実行委員会、まちづくり福井(株)
協力店舗	幸福飯 五目亭/御園飯店/越前三国 割烹 とりや/デリアテール/ 北前船のカワモト 福井物産館/割烹 間海/キッチン トリアージュ/ イタリアンバルクオーレ
告知方法	ポスター・チラシ・告知CMの制作。 福井県HP(バナー設置)・福井県Facebookの更新。 出店社の各店舗でポスター掲載とハピリン・ハピテラスでのポスター掲載を依頼。

2) イベント内容

<p>イベント1 内容</p>	<p>【12日(土)・13日(日)】10～16時 昨年発行した「福井本」掲載店の中から公募し、福井が誇る海の幸などを使用した丼を販売する8店舗が出店。両日会場で販売する丼ぶりの容器は『土に埋めると3か月で自然分解されるプラスチックスマート対応製品』の器(バガス容器)を全店舗使用。持ち帰り用の岡持ちも紙のものを使用し、提供する全容器をプラスチックフリー製品にするというオールプラスチックフリーのイベント。スタッフ・アナウンサー出店社が青の物を身に着け、イベント運営に臨んだ。また、福井県イベント会場内中央ステージで福井県PRを実施し、イベント主旨を広く周知してもらえるように呼びかけた。(12日(土)10時・11時・12時・13時・14時・15時半 計6回、13日(日)10時・11時・14時・14時45分 計4回 合計10回)</p>
----------------------------	---



・使用した容器

丼容器



持ち帰り用岡持ち



サイドメニュー容器



・その他容器(プラスチックフリー)



・プラスチックフリーをPR

◀店舗看板

・バガス容器パネル(左下)、海洋ごみ問題訴求パネル(右下)を入口2ヶ所とごみステーションに設置※バガス容器パネルは各店舗にもA4パネルで設置

イベント2
内容

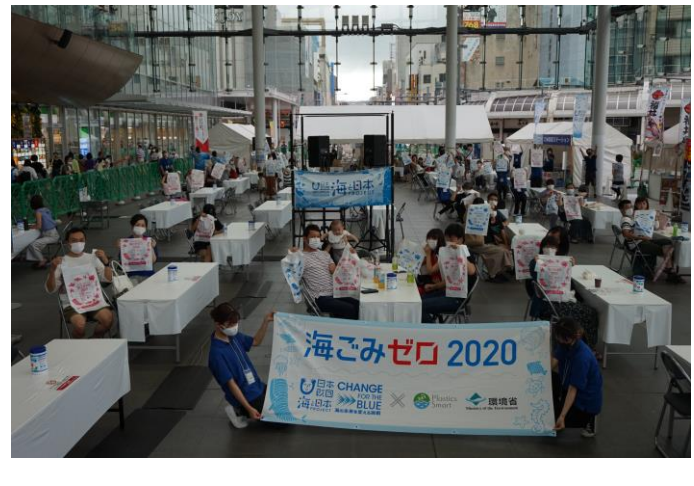
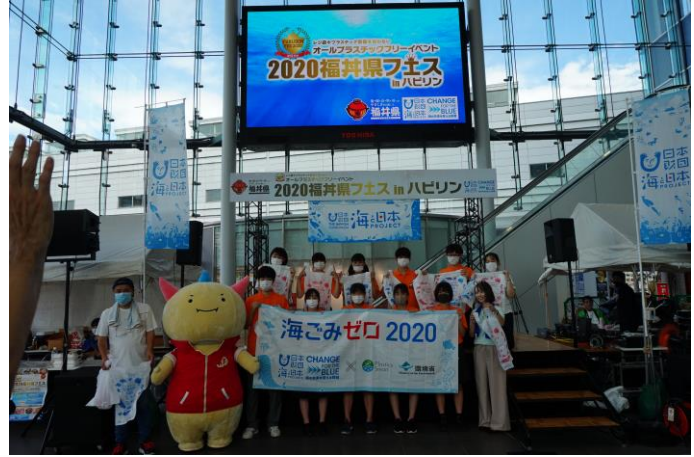
【12日(土)・13日(日)】10~16時

会場入口で来場者に海ごみゼロオリジナルごみ袋に配布し、会場内・付近のごみ拾い企画を実施。井ぶりを購入する前や食事を終えた後にごみ拾いを実践する人が多くみられた。

【12日(土)11時・14時、13日(日)11時半・14時45分】

「みんなでごみ拾い」とし、会場内にいるお客様と一斉にごみ拾いを実施した。

参加人数: 約3,000人 ごみ袋: 1,020袋



イベント3
内容

【13日(日)】正午～
海洋ごみを減らし、循環型社会をつくるための活動として天然素材を使用した自然にかえる素材をつかった容器のデザインを募集していた「NEXT DONBURI CONTEST」。福井県内在中の中学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生を対象に募集し、259通の応募の中から一次審査を通過した5人が大賞を目指しプレゼンテーションを行った。審査員も青い物を身に着け、審査に臨んだ。



3) その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いをしたことで、海ごみにつながるとは思わなかった。今後も気を付けたい。 ・一人一人がプラスチックを極力使わないということを気を付けることが海ごみ問題の解決に繋がるのではないかと感じる事ができた。 ・海がごみでこんなに影響が出ているとは知らなかった。
<p>配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「2020福井県フェスinハピリン」チラシ ・「福井まちなか一斉ごみ拾い」MAP <p style="text-align: right;">▼福井県フェスチラシ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="439 1162 768 1583" style="width: 45%;"> <p>海ごみゼロウィーク UMIGOMI Zero WEEK</p>  <p>◆各自で新型コロナウイルス感染症防止対策をお願いします。 マスク(※)や手袋を善用での参加、また終了後には必ず手洗いをお願いします。 ※マスクは、熱中症リスクが高くなるおそれがある為、こまめな水分補給を心がけてください。 この日、ビニール袋に入れて密閉して捨ててください。</p> </div> <div data-bbox="791 1162 996 1583" style="width: 45%;"> <p>海・湖・山・里・川への 福井県 やさしさを目指して。</p> <p>2020年9月13日(日) AM8:00~AM10:00開催</p> <p>■海洋ごみの約8割は陸(岸)から川を流って海に流れ出したものと推定されています。「ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを拾う」一人ひとりの行動が海の汚染を防ぐことに繋がります。「海ごみゼロ」を合言葉に、いまこそ、福井から全国へ、海の未来を変える行動を一緒に起こしましょう。</p> <p>■下記にある専用ごみ袋を持ってMAP赤線で囲っている範囲のごみ拾いを●ハピリン●西武福井駅前●福井市中央公園に設置しているごみステーションにお持ちください。ごみ袋と引換えに参加記念品をお渡しします。</p>  <p>※ごみ袋には必ず「海ごみゼロ」のステッカーを貼ってください。 青の袋には燃えるごみ、赤の袋には燃えないごみを入れてください。</p>  </div> </div> <p style="text-align: right;">▲福井まちなか一斉ごみ拾いMAP</p>
<p>メディア掲出</p>	<p>2020年9月11日(金) 福井テレビ17時53分~「福井テレビ Live News」 2020年9月11日(金) 福井新聞 朝刊 2020年9月12日(土) 福井テレビ11時56分~「福井新聞ニュース」 16時55分~「福井新聞ニュース」 20時54分~「福井新聞ニュース」 2020年9月12日(土) 福井テレビ17時30分~「福井テレビ Live News」 2020年9月13日(日) 福井テレビ17時30分~「福井テレビ Live News」 2020年9月13日(日) 福井新聞 朝刊 2020年9月13日(日) 読売新聞 朝刊</p>

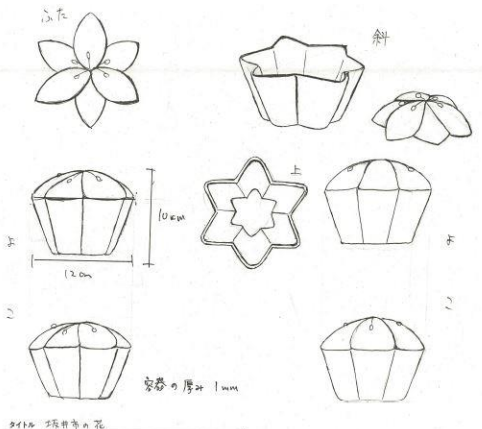
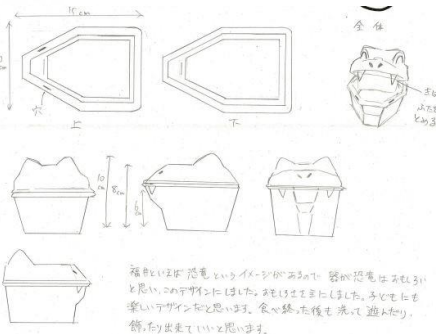
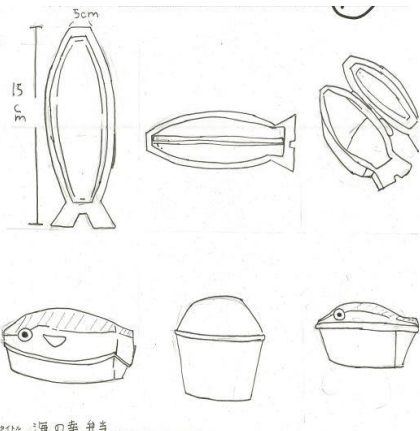
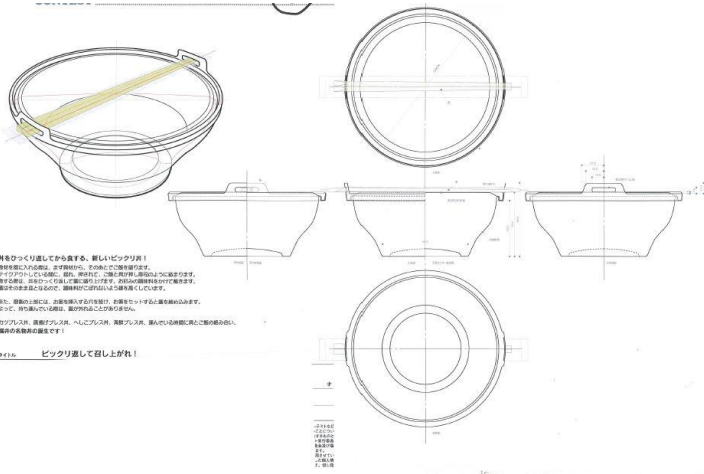
事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	NEXT DONBURI CONTEST
イベントの目的・ねらい	海や山へのゴミの流出を減らし、また海洋ごみの問題を真剣に考え、循環型社会をつくるための活動として、天然素材を使用した自然にかえる素材をつかった容器をもっと知ってもらい、使ってもらえるよう今までにないデザインの『福井の器 NEXT DONBURI』作品を募集。
日程	【作品募集】2020年3月20日(金祝)～6月26日(金) 【一次審査】2020年7月3日(金) 【決勝ラウンド】2020年9月13日(日)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
イベント掲載URL	http://fukudon.jp/news/info/1543/ http://fukudon.jp/news/info/1556/ http://fukudon.jp/news/info/1559/ http://fukudon.jp/news/info/1561/
開催場所	【一次審査】福井テレビ 【決勝ラウンド】「福井県フェス2020」ステージ
参加人数	5,400人
主催	福井県プロジェクト実行委員会
協力店舗	i.Design Studio / (株)折兼
告知方法	「福井県フェス」ポスター・チラシ・告知CMへの挿入。 福井県HP・福井県Facebook・Twitter(海と日本プロジェクトinふくい)の更新。 県内高校・大学へチラシと応募用紙郵送。 自主制作番組30分特番放送。

2) イベント内容

イベント1 内容	<p>【7月3日(金)】14~16時</p> <p>福井県内在中の中学校・高校生・専門学校生・短大生・大学生を対象に作品を募集したところ、259もの作品応募があり、厳正なる審査の上、一次審査で5作品を決定。審査基準は海ごみを減らすエコ・多様性・アイデア・食べやすさ・楽しさ・福井らしさなど。</p> <p>選ばれた5作品のタイトル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビックリ返して召し上がれ！」 ・「かにこうらどん」 ・「海の幸弁当」 ・「お口の中失礼します」 ・「坂井市の花」
---------------------	--



イベント2
内容

【9月13日(日)】正午～

「福井県フェス2020」ステージで259通の応募の中から一次審査を通過した5人が、大賞を目指しプレゼンテーションを実施。事前に5人のデザインを参考に専門デザイナーが3Dデータを作成し、出力した丼ぶり容器を渡し、色をつけてもらった。当日は色をつけた丼ぶり・中身を入れた丼ぶり・何もしていない丼ぶりを並べ、プレゼンテーションを行った。

・決勝ラウンドスケジュール

- 12:00～ オープニング
- 12:03～ 選手入場
- 12:04～ 選手紹介
- 12:06～ 審査員紹介
- 12:08～ 審査について
- 12:10～ 作品プレゼンテーション①～⑤(各10分間)
- 13:00～ 審査(10～15分)
- 13:15～ 結果発表
- 13:20～ 表彰

・審査基準・作品プレゼンテーション内容

- ①海洋ごみの問題に対する想い
- ②この丼ぶりのネーミング・コンセプト
- ③この丼ぶりのアピールポイント(エコ・多様性・アイデア・食べやすさ・楽しさ・福井らしさ等)
- ④この丼ぶりの使い方
- ⑤この丼ぶりの工夫した点(盛り付けが綺麗に見える・かさばらない・コンパクトに捨てやすい等)
- ⑥その他アピールポイント
- ⑦まとめ

・賞

- NEXT DONBURI大賞
- NEXT DONBURI 準大賞
- 審査員特別賞(3点)





3)その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテストに参加して、海洋ごみ問題を真剣に考えるようになった。海洋ごみ問題は海洋汚染だけではなく、生態系の崩壊、自分たち人間にとっても驚異だとわかった。 ・海からの恵みに感謝して、綺麗な海を守りたい。 ・プラスチックごみが年間800万トンも海洋に流出していると知った。人の生活が、自然環境を大きく壊している。環境への負担を減らす、身近な努力をさらに進めたい。 																						
<p>配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)</p>	<p>・NEXT DONBURI CONTESTプレゼン・フリップ記入用紙</p> <div data-bbox="439 507 868 1263" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">学校名:</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">氏名:</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;"> ★作品プレゼンテーション内容・フリップ希望内容を記入の上、 8月28日(金)までにご返信下さい★ </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> 作品プレゼンテーション内容 ※10分間の内容をお書きください。 (海洋ごみの問題に対する思い(必ずご記入をお願いします。)) </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">①このごんぶりのネーミング・コンセプト</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">②このごんぶりのアピールポイント (エコ多様性・アイデア、食べやすさ・美しさ・備前らしさ等)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">③このごんぶりの使い所</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">④このごんぶりの工夫点 (盛り付けが簡単に見える・持ち運びやすい・コンパクトに作れる等)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">⑤その他アピールポイント</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">⑥まとめ</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> フリップ希望内容 ※名前・ネーミング・コンセプトはフリップにいたします。残り2枚分の希望内容をお書きください。フリップの大きさはA2です。 </td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">希望内容①</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; height: 20px;">希望内容②</td> </tr> </table> </div>	学校名:	氏名:	★作品プレゼンテーション内容・フリップ希望内容を記入の上、 8月28日(金)までにご返信下さい★		作品プレゼンテーション内容 ※10分間の内容をお書きください。 (海洋ごみの問題に対する思い(必ずご記入をお願いします。))		①このごんぶりのネーミング・コンセプト		②このごんぶりのアピールポイント (エコ多様性・アイデア、食べやすさ・美しさ・備前らしさ等)		③このごんぶりの使い所		④このごんぶりの工夫点 (盛り付けが簡単に見える・持ち運びやすい・コンパクトに作れる等)		⑤その他アピールポイント		⑥まとめ		フリップ希望内容 ※名前・ネーミング・コンセプトはフリップにいたします。残り2枚分の希望内容をお書きください。フリップの大きさはA2です。		希望内容①	希望内容②
学校名:	氏名:																						
★作品プレゼンテーション内容・フリップ希望内容を記入の上、 8月28日(金)までにご返信下さい★																							
作品プレゼンテーション内容 ※10分間の内容をお書きください。 (海洋ごみの問題に対する思い(必ずご記入をお願いします。))																							
①このごんぶりのネーミング・コンセプト																							
②このごんぶりのアピールポイント (エコ多様性・アイデア、食べやすさ・美しさ・備前らしさ等)																							
③このごんぶりの使い所																							
④このごんぶりの工夫点 (盛り付けが簡単に見える・持ち運びやすい・コンパクトに作れる等)																							
⑤その他アピールポイント																							
⑥まとめ																							
フリップ希望内容 ※名前・ネーミング・コンセプトはフリップにいたします。残り2枚分の希望内容をお書きください。フリップの大きさはA2です。																							
希望内容①	希望内容②																						
<p>メディア掲出</p>	<p>2020年9月13日(日) 福井テレビ17時30分～「福井テレビ Live News」</p>																						

事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	福井まちなか一斉ごみ拾い
イベントの目的・ねらい	海ごみゼロへの意識を広げるべく、福井市中央公園に集まり、まちなか(JR福井駅周辺)のごみ拾いを実施。海洋ごみゼロを目指す取り組みをPRする。
日程	2020年9月13日(日)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
イベント掲載URL	http://fukudon.jp/news/info/1567/
開催場所	福井市中央公園～JR福井駅前
参加人数	1,500人
主催	福井県プロジェクト実行委員会、まちづくり福井(株)
協力店舗	
告知方法	「福井県フェス」ポスター・チラシへの挿入。 告知CMの制作。 福井県HP・福井県Facebook・海と日本プロジェクトinふくいHPの更新。 福井駅前販促会議での呼びかけ。

2) イベント内容

イベント1 内容

【13日(日)】午前8～10時

日本財団と環境省が主催する全国一斉キャンペーン・秋の海ごみゼロウィークに合わせ、「福井まちなか一斉ごみ拾い」を実施。イベントでは、海と日本プロジェクトオリジナルごみ袋を配布し、回収したごみと引き換えにオリジナル若狭塗箸をプレゼントした。

・内容

◇開始式 午前8時～

- ・福井県プロジェクト実行委員会 野坂昌之委員長挨拶
- ・ごみ拾い説明
- ・ごみ袋配布
- ・記念撮影

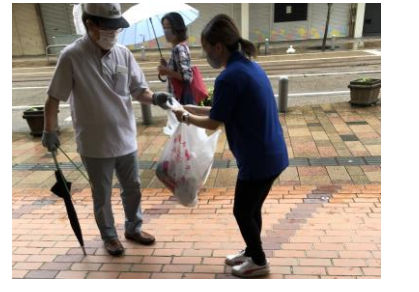
◇ごみ拾い 午前8時15分～

◇ごみステーション(3か所:福井市中央公園、福井西武前、ハピテラス)

- ・ごみ回収
- ・参加記念品渡し
- ・追加ごみ袋配布

参加人数:約1,600人 ごみ袋670袋





3) その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいだと思っていたまちに意外とごみが落ちていることがわかった。 ・ポイ捨てはもちろん、普段の生活からごみを出すことを減らしていければと思う。
<p>配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福井まちなか一斉ごみ拾い」MAP ・若狭塗箸 <div style="text-align: right;"> <p>▼福井まちなか一斉ごみ拾いMAP</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="428 486 821 984" style="width: 45%;"> <p>海ごみゼロウィーク UMI GOMI Zero WEEK</p> <p>2020年9月13日(日) AM8:00～AM10:00開催</p> <p>■海洋ごみの約8割は海(河)から川を流れて海に流れ出したものと言われています。「ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを捨てる。」一入ひとりの行動が海の未来を守ることに繋がります。「海ごみゼロ!」を合言葉に、いまこそ、福井から全国へ、海の未来を変える行動を一層起こしましょう!</p> <p>■下記にある専用ごみ袋を持ってMAP赤線で見ている範囲のごみを持って●ハビリン●西武福井駅前●福井市中央公園に設置しているごみステーションにお持ちください。ごみ袋と引換えに参加記念品をお渡しします。</p> <p>※各自で新型コロナウイルス感染防止対策をお願いします。 ・マスク(着)や手袋を専用での参加、また終了後には必ず手洗いをお願いします。 ※マスクは、熱中症リスクが高くなるおそれがある為、こまめな水分補給を心がけてください。 ・ごみは、ビニール袋に入れて密閉して持ってください。</p> </div> <div data-bbox="835 486 1285 984" style="width: 45%;"> <p>福井県 海・湖・山・里・川へのやさしさを目指して。</p> <p>2020年9月13日(日) AM8:00～AM10:00開催</p> <p>■海洋ごみの約8割は海(河)から川を流れて海に流れ出したものと言われています。「ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを捨てる。」一入ひとりの行動が海の未来を守ることに繋がります。「海ごみゼロ!」を合言葉に、いまこそ、福井から全国へ、海の未来を変える行動を一層起こしましょう!</p> <p>■下記にある専用ごみ袋を持ってMAP赤線で見ている範囲のごみを持って●ハビリン●西武福井駅前●福井市中央公園に設置しているごみステーションにお持ちください。ごみ袋と引換えに参加記念品をお渡しします。</p> <p>※各自で新型コロナウイルス感染防止対策をお願いします。 ・マスク(着)や手袋を専用での参加、また終了後には必ず手洗いをお願いします。 ※マスクは、熱中症リスクが高くなるおそれがある為、こまめな水分補給を心がけてください。 ・ごみは、ビニール袋に入れて密閉して持ってください。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>【若狭塗箸】 マイ箸を持ち歩き、毎日の暮らしの中でできるだけごみを出さないようにしましょう。</p> </div>

▲若狭塗箸 箸入れ

事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	西武福井店「ショッピング・エイドフェア」出展 紙製「OKAMOCHI カフェバッグ」販売
イベントの目的・ねらい	西武福井店「ショッピング・エイドフェア」に出展し、レジ袋もプラスチック容器も使わない紙製「OKAMOCHI カフェバッグ」(食品容器で使用しているバガスは100%生分解)を販売。海洋ごみにつながるプラスチック削減を呼びかける。また、販売と同時に訴求メッセージパネルを掲げ、ごみを出さない・捨てない・ごみを拾うという自分たちにできることを続けることで海ごみ減少につながるということを感じてもらい、これからも自発的・積極的に続けていくように意識してもらおう。
日程	2020年10月7日(水)～10月12日(月)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
開催場所	西武福井店5階
参加人数	ショッピング・エイドフェア来場者 約5,000人
主催	福井県プロジェクト実行委員会
協力店舗	「グリルあまから」(福井県)
告知方法	夕方情報番組

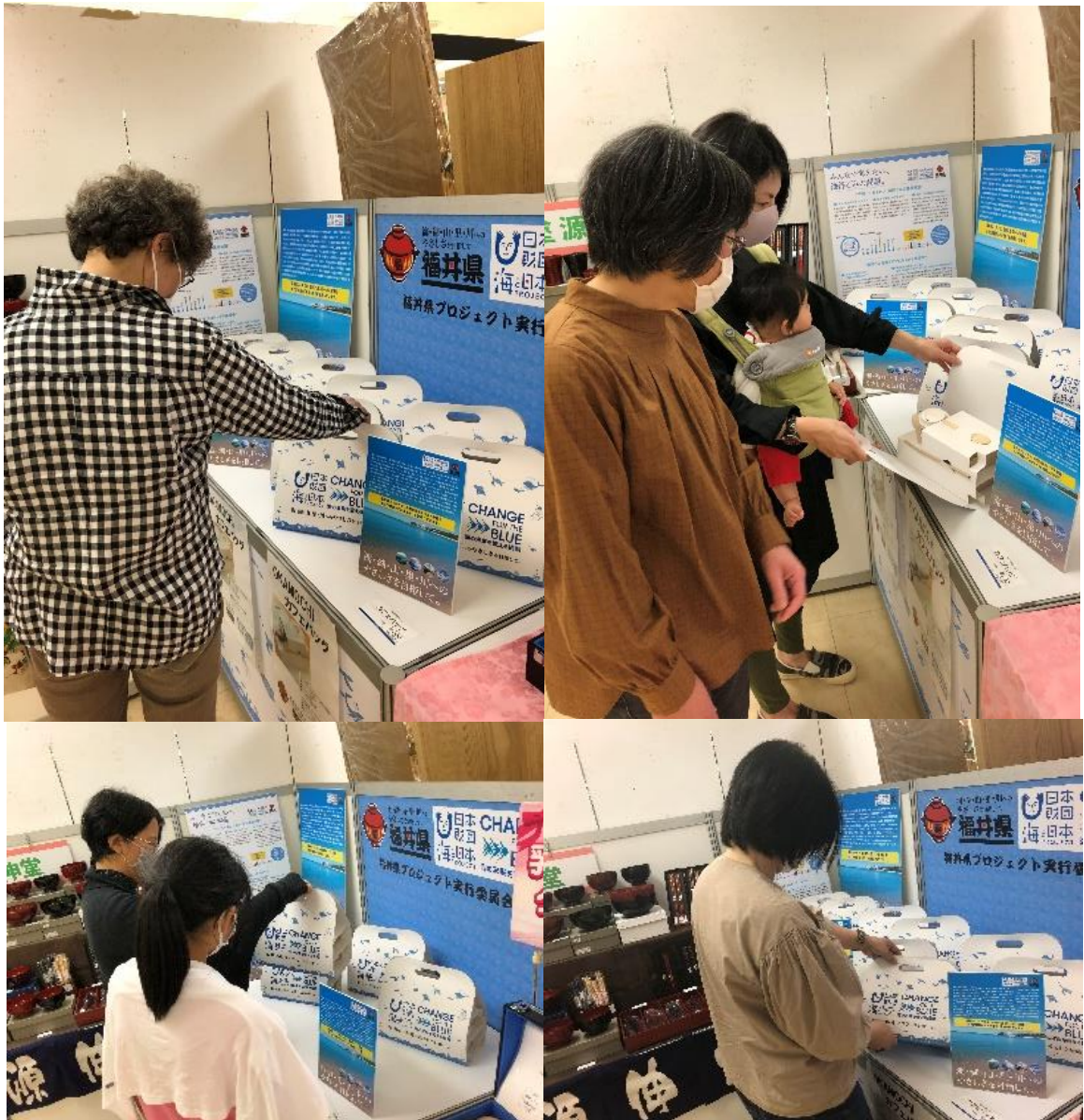
2) イベント内容

イベント内容	福井県プロジェクト実行委員会委員長の「グリルあまから」(福井県)三代目 野坂氏が海洋ごみ問題を解決するために、レジ袋もプラスチック容器も使わない紙製「OKAMOCHI カフェバッグ」を開発。その岡持ちに日本財団のロゴ・福井県ロゴ・キャッチコピー・訴求メッセージを印刷し、西武福井店でイベント「ショッピング・エイドフェア」にて販売する。
--------	---


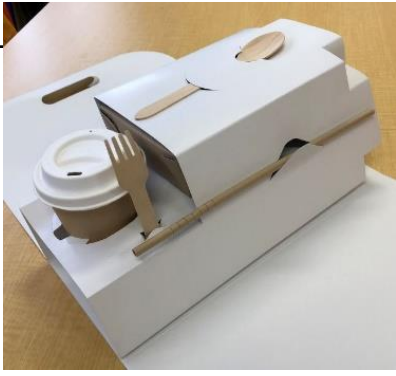


【会場】



【お客様の様子】



3)その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙製岡持ちの発送がおもしろい。分別をせず、地球にも優しいということで、使ってみようと思った。 ・(訴求メッセージをみて)海洋ごみの実態に驚いた。自分たちが食べる魚にも影響があるかと思うと、少しでもごみを減らす工夫をしていかなければと感じた。 ・バガス素材というものがあることを初めて知った。
<p>配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)</p>	<p>・紙製「OKAMOCHI カフェバッグ」</p>   <p>↑ 岡持ち中身</p> <p>↑ 岡持ち表面 岡持ち裏面→ ↓ 文章拡大</p>  <p>使用している食品容器は石油系プラスチックではなく「バガス素材」で作られた海にやさしいテイクアウト容器です。食べ終わって出たごみはポイ捨てせず決められた場所で捨てましょう。</p>
<p>メディア掲出</p>	<p>2020年10月7日(水) 福井テレビ17時15分～ 「福井テレビ Live News&おかえりなさい」</p> <p>2020年10月8日(木) 日刊県民福井 朝刊</p> 

事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	2020福井県フェス in ハピリン リターンズ
イベントの目的・ねらい	海ごみゼロへの意識を広げるべく、使用する容器や袋を全てプラスチックフリー製品にするというオールプラスチックフリーのイベント。ステージプログラムとして、日本各地の海の魅力や課題を熱源キャラバンカーで発信している市川さゆりさんと福井県プロジェクト実行委員会実行委員長であり福井の熱源人材に選ばれた野坂氏の「熱源キャラバントークショー」を実施。また、来場者とともにごみ拾いを実施することで、来場者に「海ごみ」の現状のPRを行い、海洋ごみの問題を一緒に考えるきっかけを作る。
日程	2020年11月1日(日)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
イベント掲載URL	http://fukudon.jp/news/info/1579/
開催場所	福井市にぎわい交流施設ハピリン1階(JR福井駅西口側)ハピテラス
参加人数	3,000人
主催	福井県プロジェクト実行委員会
共催	日本財団 海と日本プロジェクト
協力店舗	デリアテール／炭火ステーキ キッチン&バル／御園飯店／板長バル／中国料理 香蘭／居酒屋 のむ喜／幸福飯 五目亭
告知方法	ポスター・チラシ・告知CMの制作。 福井県HP(バナー設置)・福井県Facebookの更新。 出店社の各店舗でポスター掲載とハピリン・ハピテラスでのポスター掲載を依頼。

2) イベント内容

イベント1 内容	【1日(日)】10～16時 昨年発行した「福井本」掲載店の中から公募し、福井が誇る海の幸などを使用した丼を販売する7店舗が出店。会場で販売する丼ぶりの容器は『土に埋めると3か月で自然分解されるプラスチックスマート対応製品』の器(バガス容器)を全店舗使用。持ち帰り用の岡持ちも紙のものを使用し、提供する全容器をプラスチックフリー製品にするというオールプラスチックフリーのイベント。スタッフ・アナウンサー出店社が青の物を身に着け、イベント運営に臨んだ。また、福井県イベント会場内中央ステージで福井県PRを実施し、イベント主旨を広く周知してもらえるように呼びかけた。(10時・11時・12時・13時・14時・15時 計6回)
---------------------	---



・使用した容器

丼容器



持ち帰り用岡持ち



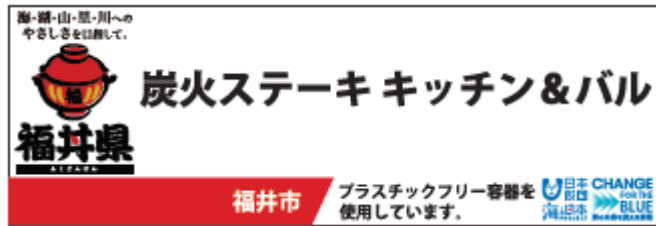
サイドメニュー容器



・その他容器(プラスチックフリー)



・プラスチックフリーをPR



◀店舗看板

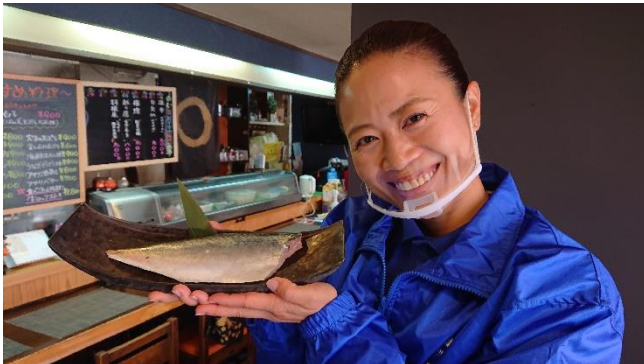
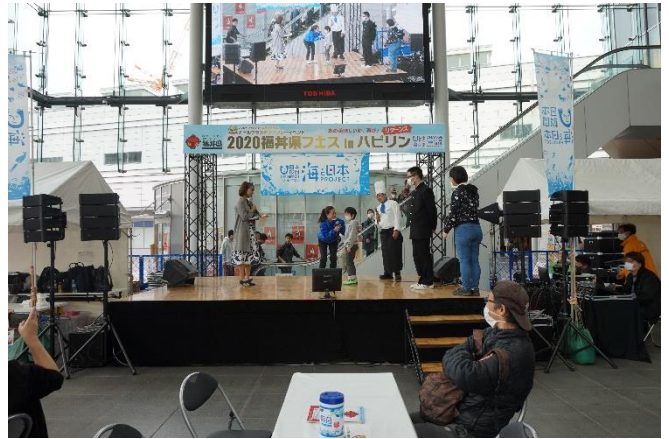
・バガス容器パネル(左下)、海洋ごみ問題訴求パネル(右下)を入口2ヶ所とごみステーションに設置※バガス容器パネルは各店舗にもA4パネルで設置



イベント3
内容

【1日(日)11時・14時】

ステージプログラムとして、「熱源キャラバントークショー」を実施。日本各地の海の魅力や課題を熱源キャラバンカーで発信している市川さゆりさんと福井県プロジェクト実行委員会実行委員長であり福井の熱源人材にも選ばれた野坂氏のトークショー。市川さんから「熱源キャラバン」の主旨やこれまでの日本各地の旅についてお話していただき、野坂氏から福井県プロジェクトへの熱い想いをきいた。また、出店社が福井の鯖を使った特製丼を提供。市川さんがお店のご主人を取材し、トークショーで鯖をもたらず豊かな海を守ろうと伝えていただくなど、海の課題を紹介することで、来場者へ海洋ごみ問題の啓蒙を行った。



イベント2
内容

【1日(日)】10~16時

会場入口で来場者に海ごみゼロオリジナルごみ袋に配布し、会場内・付近のごみ拾い企画を実施。井ぶりを購入する前や食事を終えた後にごみ拾いを実践する人が多くみられた。

【1日(日)】11時・14時

「みんなでごみ拾い」とし、会場内にいるお客様と一斉にごみ拾いを実施した。



3) その他

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸のごみが海洋ごみの8割だと知り、大変驚いた。海洋ごみの影響が人間が食べる魚にも影響するというので、身近な問題だと感じた。 ・ごみを出さない意識をもって生活していきたい。 ・バガス容器を初めて知った。プラスチックフリーのものを使用することで海洋ごみ削減に協力していきたい。
<p>配布資料 (資料データがある場合、レポートに添付して提出してください。)</p>	<p>・「2020福井県フェスinハピリン リターンズ」チラシ</p> <p style="text-align: right;">▼福井県フェスチラシ</p>  
<p>メディア掲出</p>	<p>2020年11月1(日) 福井テレビ17時30分～「福井テレビ Live News」 2020年11月2日(火) 福井新聞 朝刊 2020年11月2日(火) 読売新聞 朝刊</p> <p style="text-align: center;">▼読売新聞</p>  <p style="text-align: center;">▲福井新聞</p> 

事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	エコアクションさかい 河川プラごみクリーンアップ
イベントの目的・ねらい	海ごみの8割が、陸地から河川を通して海に流れつくことを背景に水辺の環境を守ろうとごみ拾いを実施。街中で何気なく捨てたごみが川を通して海に流れ出ることを知ってもらい、海洋ごみ削減の意識を広める。
日程	2020年11月22日(日)
事業ウェブサイトURL	http://fukudon.jp/
開催場所	坂井市三国町 九頭竜川河口(集合: いさき親水公園)
参加人数	坂井市内の11の企業・団体と個人参加の人たちふくめ300人
主催	エコネイチャー・さかい、坂井市、福井県プロジェクト実行委員会
共催	日本財団 海と日本プロジェクト

2) イベント内容

イベント1内容	三国町の九頭竜川河口の河川敷で大規模な清掃活動を実施。「海ごみゼロ2020 オリジナルごみ袋」を参加者に配布し、上流から流れ着いたプラスチックごみや流木などを集めた。
---------	---



3)その他

参加者の声

- ・初めて参加したが、河川敷にはプラスチック、流木、空き缶、ペットボトル、タイヤ、漁具などが散乱していて驚いた。
- ・今年はコロナ禍の影響で清掃活動が厳しい時期があったため、ごみが例年より多かった。
- ・海に出るごみを止めることができよかった。まずは、日常でごみを出さない工夫をしていく必要があると感じた。

事業ID: 2019522566
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や
県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)
団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

1) イベント開催概要

イベントタイトル	海洋ごみに関するアンケート調査
イベントの目的・ねらい	プロジェクトイベントが始まる8月と、全てが終わる11月に海洋ごみに関するアンケート調査を実施し、海洋ゴミの現状について認知されたかどうか、意識が変わったか、どう変わったかなどを調査し、数値化して検証する。
日程	第1回アンケート 2020年8月17日(月)～23日(日) 第2回アンケート 2020年11月16日(月)～11月22日(日)
開催場所	福井テレビWEBクラブ
参加人数	福井テレビWEBクラブ会員 約4万人の中から抽出した約400人
主催	海と日本プロジェクト 福井県プロジェクト実行委員会
告知方法	HP掲載・WEBクラブメール配信

2) イベント内容

イベント内容	8月と11月の2回、福井テレビWEBクラブ会員に向け海洋ごみに関するアンケート調査を行い、福井県民の取り組み度や意識がどのように変わったか、周知できているかなどを計る。
--------	--

3) その他

配布資料	調査内容を別途添付
------	-----------

事業ID: 2019522566

事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や

県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)

団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

アンケート調査内容

以下の内容でアンケート調査を行った

□調査内容 :

【どちらか】

○「あなたは海洋ごみの問題をご存知ですか？」 ◎はい ◎ いいえ

○「あなたはプラスチックごみの海への影響が気になりますか？」

- ・とても気になる
- ・少し気になる
- ・どちらでもない
- ・あまり気にならない
- ・全く気にならない

○「あなたは自分の生活の中で、プラスチック製品・プラスチック容器の利用を今より減らした方がいいと思いますか？」

- ・とてもそう思う
- ・まあそう思う
- ・どちらでもない
- ・あまりそう思わない
- ・まったくそう思わない

【複数選択可】

「日常生活の中でプラスチック容器の利用を減らすなど、海を汚さないための行動をどのくらい実践していますか？」

□マイバッグを持参するなど、できる限りレジ袋を受け取らない

□マイボトルを持参するなど、使い捨ての飲料容器(ペットボトルなど)をできる限り使用しない

□できる限りスプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズを受け取らない

□ルールに従って、ごみを正しく分別する

□リサイクル材や、植物を原料としたプラスチックなどを使った製品を積極的に選ぶ

□ポイ捨て・不法投棄はしない

□路上などに落ちているごみを積極的に拾う

□街中や海岸で行われる清掃活動に積極的に参加する

【自由記述欄】

事業ID:2019522566

事業名:プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や

県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)

団体名:福井県プロジェクト実行委員会

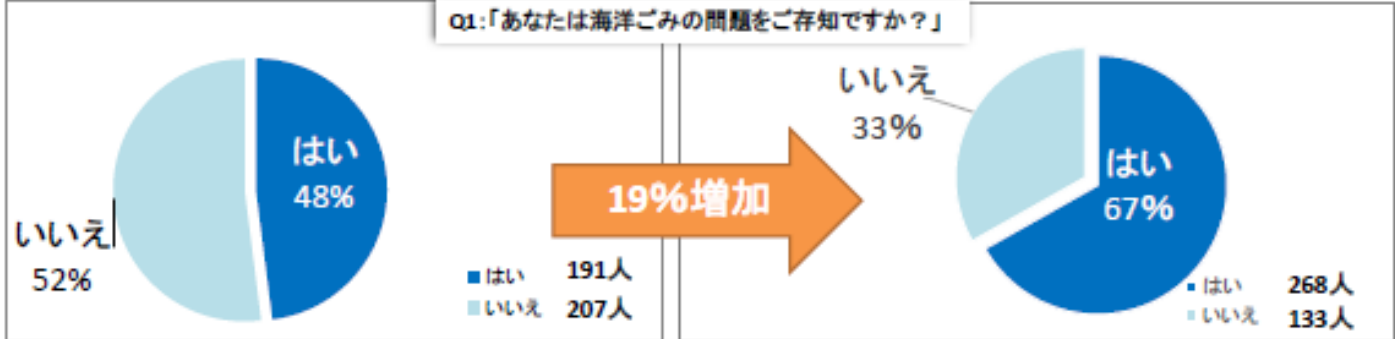
4)アンケート結果

海洋ごみ問題アンケート集計結果と分析

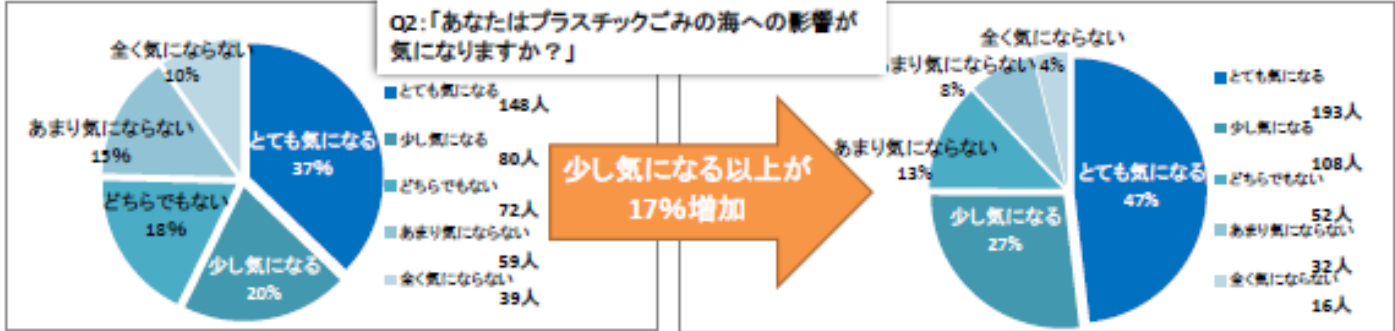
2020年8月調査結果

2020年11月調査結果

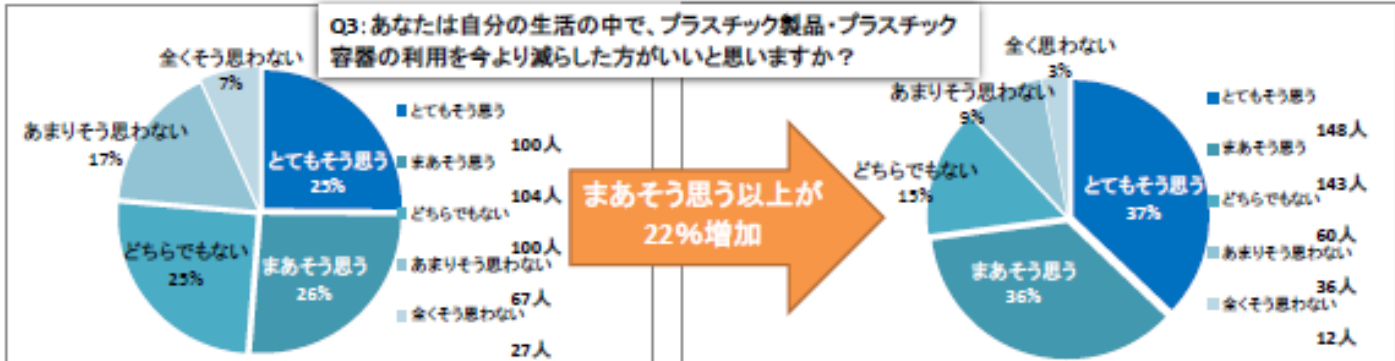
Q1:「あなたは海洋ごみの問題をご存知ですか？」



Q2:「あなたはプラスチックごみの海への影響が気になりますか？」



Q3:あなたは自分の生活の中で、プラスチック製品・プラスチック容器の利用を今より減らした方がいいと思いますか？



事業ID: 2019522566

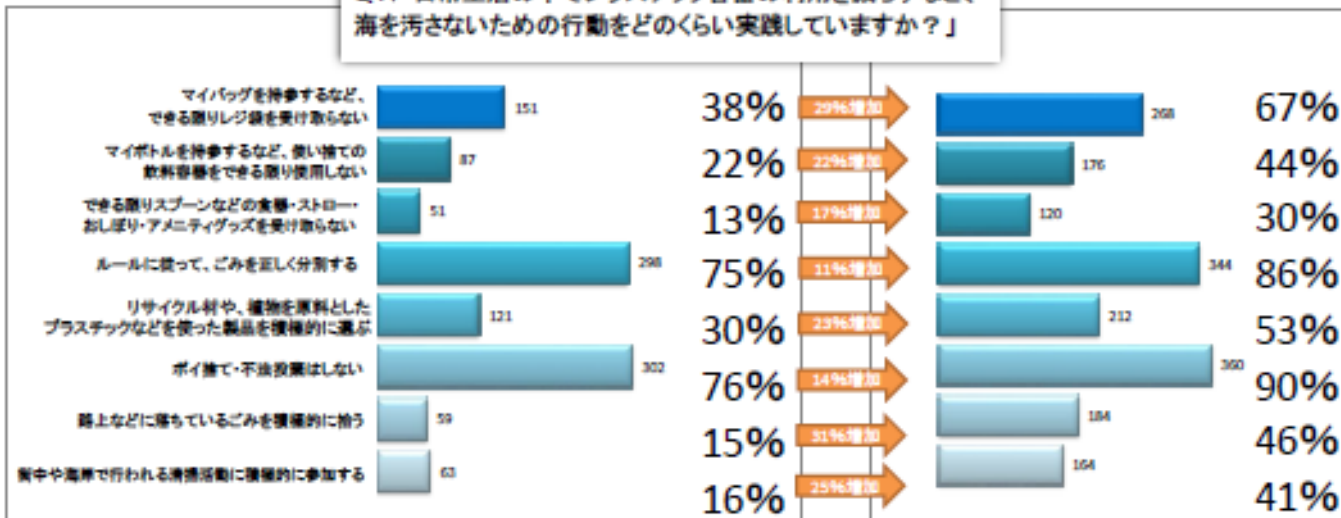
事業名: プラスチック代替素材を用いた飲食イベント開催や

県民意識調査等による海洋ごみ削減・周知啓発(CFB・海と日本2020)

団体名: 福井県プロジェクト実行委員会

4) アンケート結果

Q4: 「日常生活の中でプラスチック容器の利用を減らすなど、海を汚さないための行動をどのくらい実践していますか？」



<p>所感</p>	<p>上記の比較において、パーセンテージがどの質問に対しても2020年度の活動を実施する前→後で増加しており、海洋ごみやプラスチックに関する意識が高まっていることがわかる。2019年より「海洋ごみに対する問題提起」を行ってきて、徐々に認知度を上げていき、結果この地道な広報活動が効果を表していると推測する。Q3でプラスチック製品・プラスチック容器の利用を今より減らした方がいいと思っている人は多いが、Q4の実施度の質問ではパーセンテージが低いものも見受けられ、認知はしているが実際行動できていないことが読み取れる。この認知度を踏まえ、海ごみ問題に対して、実際の行動に移れるような施策を提案していき、個々ができることから提起できるように努めたい。</p>
<p>参加者の声 (約200人)</p> <p>自由記述 一例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本がペットボトルやレジ袋などの消費が多いことをなんとなくは認識していても、海洋のことはどこか他人事のような感覚があると思います。こういったプロジェクトで、自分を含め1人1人が意識するいい機会だと思います。 ・気になってはいるのにこちらのアンケートに答えて、改めてなかなか実行出来ていないなああと反省しました…。こういうアンケートがあると自覚する事も多いのもっと他の皆さんにもやってほしいなと思いました。 ・他人事ではなく、私たちの生活に直接関係している問題です。私達一人一人が小さな事からコツコツ始めていくことが、未来に繋がっていくことだと思います。 ・常識がもはや常識じゃなくなっている気がします。ごみを捨てない、なんて簡単な事すら出来ない人やタバコのポイ捨てもよく見かけます。 ・奉仕作業で河川のごみを拾いました。子供の頃参加した作業に比べて、空き缶よりも、プラスチックのごみの多さを感じています。 ・一人一人のわずかな取り組みから、大きな変革を生むと思います。また、便利さの裏に弊害が潜んでいることを認識し、より良い解決にわずかでも貢献しなければならぬと再認識しました。